

令和 7 年度事業報告書

7 年度事業のポイント

第 5 次中期計画の策定

- 第 4 次中期計画の計画期間が令和 7 年度末をもって終了
- これまでの取組みを踏まえた現状と課題を洗い出し、今後の方向性を明示するための新たな計画が必要
- 係長職の職員を中心にしたプロジェクトチームを結成し、そのメンバーが計画の方向性やタスクの設定を行うチャレンジングな手法で計画の策定にあたった
- 本計画では、最重要事項として「組織体制」と「経営基盤の改善」を設定し取りまとめた

基本方針①
持続可能な組織
体制の構築

基本方針②
財務構造の改善

基本方針③
市からも市民からも
信頼される質の高い
事業推進

プロポーザル方式による新たな公園管理に挑戦

- 整備が進められている大物公園・南の口公園の維持管理業務の事業者が募集された
- 両業務とも公募型プロポーザル方式による事業者選定となった
- 当協会は双方の業務にエントリーし、事業提案を行った結果、南の口公園の維持管理事業者を選定された



◆ 公益目的事業



… 新規事業

… 見直し事業

I 公益1事業〔定款事業(1)〕

(緑化普及啓発フィールド公園などを活用した普及啓発、利用促進並びに都市環境緑化の推進事業)

《管理施設》

・緑化普及啓発フィールド公園

名 称	フィールドの特徴
上坂部西公園 (尼崎市都市緑化植物園)	都市緑化植物園；花と緑の学習空間
元浜緑地	キッズランド；子ども達の遊びと学び
大井戸公園	ローズガーデン；バラを通じてのボランティア活動空間
近松公園	日本庭園風公園；植物と文化の歴史空間
宮内公園	梅と茶室のある公園；観梅茶会
祇園橋緑地	緑の散歩道
蓬川緑地バラ園	川岸のバラ園

・その他の公園緑地

名 称	フィールドの特徴
西武庫公園	サクラ、分区園、利用団体のネットワーク
県立尼崎の森中央緑地	参画と協働による生物多様性の森づくり

1 緑の相談所及び緑化普及啓発フィールド公園事業

(1) フィールド公園の魅力向上の取り組み

① 自然を活用した事業



フィールド公園内の花や生物などの自然とふれあう催しを実施し、市民の方々に公園へ足を運んでいただいて、花と緑がもたらす効用や、生物多様性を考える機会を創出した。

また、従来から実施している生物多様性をテーマにした事業のネーミングを「公園 deー」に変更・統一することにより、公園を活用した行事であることを明確にした。

・フィールド公園内の自然を活用した事業一覧表

開催日	事業名	開催場所	参加者数	内 容
4 月 26 日	季節の花散策～アヤメ～	近松公園	25 名	園内を散策しながらアヤメの話と観察
5 月 11 日	季節の花散策～バラ～	大井戸公園	45 名	解説を聞きながらバラ園を散策
5 月 24 日	植物園ガイド	上坂部西公園	8 名	園内の見ごろの植物の案内
6 月 22 日	季節の花散策～アジサイ～	元浜緑地	41 名	見ごろのアジサイをガイド付きで見学
6 月 28 日	公園 de 川の生きもの探し	上坂部西公園	46 名	身近な川の魚や昆虫などを捕まえて観察
7 月 20 日	公園 de セミ羽化観察会	西武庫公園	54 名	セミが羽化する神秘的な場面を観察
8 月 9 日	エコロコいろんな葉っぱとお水であそぼ♪	上坂部西公園	67 名	園内の葉っぱでちょっと不思議な水遊び
10 月 25 日	植物園ガイド	上坂部西公園	10 名	園内の見ごろの植物の案内

開催日	事業名	開催場所	参加者数	内 容
1 月 17 日	公園 de 冬の昆虫観察会	上坂部西公園	21 名	ゴマダラチョウの幼虫を見つけよう
1 月 18 日	バラを育てよう	上坂部西公園	14 名	バラ園でのバラの栽培方法の解説と実技講習
2 月 15 日	季節の花散策～梅花～	宮内公園	30 名	園内を散策しながらウメの話と観察
3 月 28 日	植物園ガイド	上坂部西公園	42 名	園内の見ごろの植物の案内
合 計		12 回開催	403 名	



(上坂部西公園での植物園ガイド)



(大井戸公園でのバラ散策)



(元浜緑地でのアジサイ散策)

② “みどりの学校” 開校

日頃、緑に関わる機会が比較的少ない若い世代に、緑にふれあうきっかけづくりの場を提供する「みどりの学校」を小学校の夏休み期間を中心に年間を通じて開校した。この教室は、ファミリー世帯の親子を対象に、尼崎のみどりを体験できる内容のもので、自然とのふれあいや植物を育てる楽しさを伝える講座に加えて、科学実験的な要素を取り入れた「植物サイエンス」も開催し、夏休みの宿題にも活用できる実益を兼ねた学習の場を提供した。

・子ども向け体験教室（みどりの学校）（受託事業）の開催状況

開催日	事業名	開催場所	回数	参加者数
6 月 28 日	公園 de 川の生きもの探し（再掲）	上坂部西公園	1 回	46 名
7 月 20 日	公園 de セミ羽化観察会（再掲）	西武庫公園	1 回	54 名
7 月 20 日	植物サイエンス①～光合成と花粉管～	上坂部西公園	1 回	26 名
7 月 26 日	植物サイエンス②～手作り顕微鏡～	上坂部西公園	1 回	21 名
8 月 2 日	食虫植物	上坂部西公園	1 回	26 名
8 月 10 日	和紙で食虫植物の模型作り	上坂部西公園	1 回	20 名
10 月 19 日	身近なふしぎ～みつばちとはちみつ～	上坂部西公園	1 回	24 名
12 月 14 日	身近なふしぎ～飛ぶタネ～	上坂部西公園	1 回	18 名
1 月 17 日	公園 de 冬の昆虫観察会（再掲）	上坂部西公園	1 回	21 名
合 計			9 回	256 名



(川の生きものの探し)



(セミ羽化観察会)



(植物サイエンス①)

③ “草木遊び塾” 開校

「草木遊び塾」は、木の枝やどんぐりの実などを使って自由な発想で工作を行う体験型の講座で、気候の良い時季に子どもたちに緑や自然とふれあえる場を提供することを目的としており、ファミリー世帯の親子を対象に、上坂部西公園において開催した。



(草木遊び塾の様子)

・草木遊び塾の参加者数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
人数	—	—	28	18	—	—	28	22	—	—	—	41	137

④ 市民の健康づくりの場の提供

新

コロナ禍以降の市民ニーズの変化に応え、公園を市民のウェルビーイングを支える場として活用するため、上坂部西公園において様々な健康づくりの場を提供した。

・市民の健康づくりの場（講習会）の開催状況

開催日	事業名	開催場所	回数	参加者数
10月19日	ベビーマッサージ教室	上坂部西公園	1回	7名
10月26日	公園 de フレイル予防！体操とウォーキング教室	上坂部西公園	1回	5名
10月26日	芝生でヨガのちハーブティー	上坂部西公園	1回	12名
合 計			3回	24名



(体操とウォーキング教室)



(芝生でヨガのちハーブティー)

⑤ 年中行事と植物



古来から伝わる年中行事には必ずといっていいほど「植物」が用いられてきたが、近年では、その植物を使用していなかったり、そもそも行事植物を知らない人も増えていることから、年中行事に用いられる行事植物に着目し、上坂部西公園において年間を通じて紹介した。

実施月	行事名	内容
4 月	花祭りと花見	解説文の掲示
5 月	端午の節句	解説文の掲示とかしわ餅づくり講習会
7 月	七夕と植物	解説文の掲示、ササ飾りと五色の短冊の設置
8 月	お盆と盆花	解説文の掲示、ホオズキなど盆花の展示
9 月	重陽の節句	解説文の掲示、食用菊の展示
10 月	お月見とススキ	解説文の掲示、ススキの展示、イベント「ススキとお月見のゆう
11 月	七五三とムベ	解説文の掲示、ムベの展示、植栽イベントの開催
12 月	クリスマスとモミノキ	解説文の掲示、クリスマスツリー設置
1 月	お正月と門松	解説文の掲示、門松の展示
1 月	七草の展示	解説文の掲示、植物（七草）の展示
2 月	節分とヒイラギ	解説文の掲示、こどもミニ祭りの開催（参加者 100 名）
3 月	桃の節句と桃の花	解説文の掲示、植物（モモ）の展示、甘酒のふるまい（参加者 100



（柏餅作り（端午の節句））



（ススキとお月見の夕べ）



（ムベの植栽（七五三））

⑥ “絶滅危惧植物”の保護

植物園は、植物の多様性を知り、守り、未来へつなぐことを使命としており、都市緑化植物園である上坂部西公園においては、国（環境省）や兵庫県指定の絶滅危惧植物は言うまでもなく、国内外の絶滅の恐れのある植物保護の取り組みに力を入れている。

加えて当園では、日本植物園協会加盟園として絶滅危惧植物の保有状況調査及びリスト作成や「絶滅のおそれのある野生植物の種の国際取引に関する条約（ワシントン条約）」に抵触する植物の保管を行うなど、植物多様性保全に重点を置いた取り組みを実践している。



(ヒメバラモミ)



(オガサワラグワ)



(リュウケツジュ)

⑦ SDG s 地域ポイント制度への協賛

尼崎市が実施する「SDG s 地域ポイント制度」に協賛し、公園での除草作業など当協会が指定するボランティア活動や講習会の参加者に、継続特典チケットとあま咲きコイン（SDG s ポイント）を付与するとともに、継続特典チケットの景品として「花とみどりのギフト券」と引き換えるサービスを提供した。

(2) ボランティアとの協働の取り組み

市民等が主体となって進めるみどりの活動を推進するため、本年度も、上坂部西公園をはじめとする緑化普及啓発フィールドの基幹公園で立ち上げた公園ボランティアグループと共に、市民協働の公園運営に取り組んだ。

① グリーンヘルパーとの協働の取り組み

花と緑に関する学習や研究に取り組む市民ボランティアグループ「尼崎市都市緑化植物園グリーンヘルパー」の皆さんが、当協会との連携のもと、上坂部西公園を拠点に月2回の定例活動などを実施した。

- ・登録人数 21 名
- ・定例活動日 毎月第2・4土曜日（定例日以外にも日常的に作業を多数実施）
- ・活動内容 本年度も、公園内の一部の花壇の植替えや管理、植物園ガイドなどの活動に取り組んだ他、兵庫県が小学3年生を対象に実施する環境体験学習にサポーターとして登録し、12校25クラス770人の生徒を受け入れて上坂部西公園の植物観察会を行うなど、工夫を凝らした質の高い活動を実施した。



(樹木スタンプラリー)



(小学生対象の環境体験学習)

② ローズAMA（大井戸公園）とのバラ栽培管理の取り組み

大井戸公園において、バラを美しく咲かせるための栽培管理のボランティア活動を実施した。たくさんのバラが咲き誇る当公園のバラ管理に欠かせないグループとして、大変手間が掛かるバラ管理作業に活発に取り組んだ。

- ・登録人数 31 名
- ・定例活動日 毎月第 1 木曜日
(上記以外にも日常的に作業を実施)
- ・活動内容 花がら摘み、除草、施肥など季節に応じたバラの栽培管理作業を実施した。



(ローズAMAの作業風景)

③ 近松公園アヤメクラブのアヤメ園整備の取り組み

アヤメ園の除草や枯れた花の刈り取り、アヤメの補植等を行って景観を整えるなど、各種整備に取り組んだ。

- ・登録人数 7 名
- ・定例活動日 毎月第 2 水曜日
- ・活動内容 除草や施肥、薬剤散布、株分け等の管理作業を実施した。



(アヤメクラブの活動の様子)

④ 元浜緑地アジサイクラブの株数増加などの取り組み

もみじ池周辺のアジサイを再生させるため、土の補充や土留めを行い保水性のある土に改良したほか、除草や清掃など、幅広い活動を実施した。

- ・登録人数 4 名
- ・定例活動日 毎月第 2 木曜日
- ・活動内容 アジサイ園の落ち葉清掃、除草、灌水、剪定などの維持管理作業、挿し木や補植などの増殖作業等を実施した。



(アジサイクラブの活動の様子)

⑤ ローズAMA（潮江公園）とのバラ栽培管理の取り組み

たくさんのバラが咲き誇る当公園のバラ管理に欠かせないボランティアグループとして、大変手間が掛かるバラ管理作業に活発に取り組んだ。

- ・登録人数 16 名
- ・定例活動日 毎月第 3 木曜日
- ・活動内容 花がら摘み、除草、施肥など季節に応じたバラの栽培管理作業を実施した。



(ローズAMAの作業風景)

(3) 仕事体験等の受け入れ

兵庫県が中学２年生を対象に職場体験として実施している「トライやるウィーク」や生活困窮者等就労準備支援としての職業体験を上坂部西公園で受け入れ、緑化普及の立場からの社会貢献事業に取り組んだ。

事業名称	回数等	受入人数
中学生のトライやるウィーク	３校	７人
生活困窮者等職業体験	２２回	１人
合 計		８人

(4) 講習会事業

① 上坂部西公園緑の相談所での一般講習会

緑の相談所において、クリスマスローズなど人気の植物の育て方や、しめ縄やハロウィンフラワーアレンジメントなどの季節の装飾品づくり等、幅広いテーマの講習を開催した。

開催日	講習会名	参加者	内容
８月２０日	タマネギで布を染めてみよう	２１名	タマネギを使って染色体験
１０月５日	ハロウィン★フラワーアレンジメント	１１名	ハロウィンテイストのフラワーアレンジメント
１０月１０日	クリスマスローズの育て方	７名	花の解説と栽培ポイント、植付け実習など
１２月７日	クリスマスリース作り	１２名	木の実やコニファーを使ったクリスマスリース
１２月２１日	しめ縄作り（２回）	３３名	藁を編んでオリジナルのしめ縄作り
２月８日	ベランダでイチゴを育てよう	２５名	四季なりイチゴの育て方
２月２８日	クリスマスローズの育て方	１７名	花の解説と栽培ポイント、植付け実習など
３月２２日	葉脈標本でつくるキーホルダー	２０名	葉脈標本をレジンでコーティングしてオリジナルのキーホルダー作り
合 計		１４６名	



(ハロウィン★フラワーアレンジメント)



(しめ縄作り)



(クリスマスローズの育て方)

②「世界の植物と暮らしシリーズ」講習会

植物に関する学びの観点に「国際交流・理解」を加えた講習会「世界の植物と暮らし」シリーズを、緑の相談所に加えて生涯学習プラザにも出向き、計6回開催した。

また、より多くの市民に緑に関心を持ってもらうため、尼崎市が主催する学びの祭典「みんなのサマーセミナー」においても当該シリーズのエッセンスを詰め込んだ出張講習を開催した。

・「世界の植物と暮らしシリーズ」講習会の開催状況

開催日	国名	講師名	開催場所	参加者数	内容
5月25日	モロッコ	モアド・ブアッディ	上坂部西公園 緑の相談所	20人	植物や文化の紹介と伝統料理クスクスの試食
9月21日	ウガンダ	伊藤ヴィクトリア	大庄北生涯学習 プラザ	16人	植物や文化の紹介と伝統料理ローレックスの調理・実食
11月30日	ベトナム	キム・ヒエウ	武庫西生涯学習 プラザ	14人	植物や文化の紹介と伝統料理バインセオの調理・実食
1月25日	イギリス	ジェイムズ・ライブニック	上坂部西公園 緑の相談所	24人	植物や文化の紹介と伝統料理クリームティーの実食
2月22日	タイ	中島ネティカン	小田南生涯学習 プラザ	16人	植物や文化の紹介と伝統料理パッタイの調理・実食
3月15日	日本	小西酒造 滝本昌美	上坂部西公園 緑の相談所	16人	稲作や米にまつわる日本文化、日本酒造りの説明、試飲
合 計			6回開催	106人	



(モロッコ編)



(ウガンダ編)



(ベトナム編)

・みんなのサマーセミナーでの出張講習会(手作り顕微鏡で気孔を観察)の開催状況

開催日	事業名	開催場所	参加者数
8月3日	みんなのサマーセミナー	園田学園大学	16名



③ 伝統園芸植物管理講習会

菊花や皐月、小品盆栽等伝統的な園芸植物を保存・継承するため、その管理方法を学ぶ教室を、年間を通して開催した。

講習会名 / 月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	
														回数	人数
菊作り		12	10	9	7	—	5	—	—	—	—	—	14	6	57
洋ラン		12	11	9	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3	32
皐月盆栽		13	13	11	9	—	11	11	9	12	9	8	12	11	118
小品盆栽		17	15	16	17	13	17	14	13	16	14	13	20	12	185
計	回 数	4	4	4	3	1	3	2	2	2	2	2	3	32	—
	人 数	54	49	45	33	13	33	25	22	28	23	21	46	—	392



(菊作り講習会)



(洋ラン講習会)



(小品盆栽講習会)

④ ガーデニング体験講座



園芸初心者向けに、公園内の花壇の一角で草花の植栽を行い、その後のボランティア活動への参画などを促す体験型の講座を実施した。本年度は体験講座のうち、上坂部西公園で実施した2回について、展示施設前の花壇を利用して、初めて花壇を作る方を対象に「小さな花壇の作り方」講座を開催した。

講習会名 / 月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	
														回数	人数
上坂部西公園		—	12	—	—	—	—	—	5	—	—	—	—	3	17
西武庫公園		—	2	—	—	—	7	—	6	—	—	—	—	3	15



(上坂部西公園での講習の様子)



(西武庫公園での講習の様子)

(5) 展示会事業

花や緑に関連する各種展示会については、温室では育成・展示している貴重な植物を活かした企画展示を行い、展示施設（みどりのみゅーじあむ）では市民団体等の発表の場として展示を行うなど、施設の特徴に応じて使い分けて開催した。

また、展示会開催期間以外にも工夫を凝らした常設展示を行い、年間を通して花・緑の素晴らしさを広く発信した。

・展示会（温室）の開催状況

展 示 会 名	開催期間	場 所	内 容	来場数
ベゴニア展	4/21～5/11	温 室	色とりどり、様々なタイプのベゴニアを展示	1,466 人
冬の鉢花展	12/6～12/25	温 室	シクラメンやポインセチアなど冬を彩る鉢花の展示	1,537 人
延べ開催日数 41 日 来場数 3,003 人				



(ベゴニア展)



(冬の鉢花展)

・展示会（展示施設）の開催状況

展 示 会 名	開催期間	内 容	来場数
上坂部西公園の風景画展	4/5～4/13	上坂部西公園を描いた絵、写真などの展示	597 人
第 49 回小品盆栽と山野草展	4/25～4/27	尼崎小品盆栽山草会が育てた盆栽や山草の展示	1,085 人
2024 あまがさきフラワーガーデニングコンテスト入賞花壇写真展&家中緑自慢写真展	4/29～5/6	・2024 フラワーガーデニングコンテスト入賞花壇の写真の展示 ・家中緑自慢に応募した方の写真展	548 人
花でつながる作品展	5/9～5/11	各都道府県の花木をテーマにした短歌や写真の展示	169 人
みどりとやきもの展	5/16～5/19	陶芸作品に植物を添えた展示	362 人
盆栽教室発表展	5/24～5/25	上坂部西公園で毎月開催している盆栽講座の受講者さんの作品の展示・発表	220 人
手作りフェア展	5/31～6/1	花をテーマにちぎり絵・スワッグなどの様々なジャンルの作品の展示	583 人
やまとうた logos 動植物に捧げる vol.3	6/6～6/8	やまとうた logos の展示 詩やメッセージの展示	516 人
阪神水草展	6/13～6/15	阪神地域の水草の展示	319 人
相談所だより 400 回記念特別展	6/21～7/6	第 1 号から現在までの『相談所だより』の展示	403 人
飾って、使って、香りを楽しむハーブ展	7/11～7/13	身近に育てているハーブをより素敵に楽しむ飾り方・利用法の紹介・展示	587 人

展 示 会 名	開催期間	内 容	来場数
忍者と植物～秘伝の草木術～	7/19～8/3	忍者の使っていた植物の展示・紹介	441 人
虫・むし・ムシ展	8/15～8/25	園内で見つけた昆虫の写真や実物の展示	672 人
JQA地球環境世界 児童画コンテスト優 秀作品展	9/5～9/19	世界の子どもたちが環境をテーマに描いたコ ンテスト優秀作品の展示	396 人
花を楽しむガラス展 vol. 2	10/10～10/12	手作りされたガラス作品と植物の展示	536 人
第 50 回小品盆栽と山 野草展	10/17～10/19	尼崎小品盆栽山草会が育てた盆栽や山草の展 示	1,027 人
さつき樹形展	10/24～10/26	尼崎皐月協会会員が育てた皐月盆栽の樹の姿 を鑑賞する展示	648 人
花と植物～細密画の “世界”～展	11/1～11/9	様々な花や植物を繊細に描いた細密画の“世 界”の展示	461 人
みどりとやきもの展	11/14～11/17	陶芸作品に植物を添えた展示	496 人
2025 つなが森展	11/23～11/29	あこや学園・つくしっ子園の子どもたちの作 品の展示	912 人
秋の洋ラン展	12/5～12/7	尼崎洋ラン会会員が育てた様々なタイプの洋 ランの展示	847 人
お正月展	12/20～1/15	お正月飾りやお正月の遊びの展示	1,018 人
ペーパークラフト 「花」作品展	1/23～1/25	和紙を使って四季折々のお花を折り、リース やスワッグにした作品の展示	561 人
鳥・とり・トリ展	1/30～2/3	上坂部西公園で撮影した野鳥写真の展示	432 人
市民の洋ラン展	2/6～2/8	尼崎洋ラン会会員が育てた様々なタイプの洋 ランの展示	618 人
じぶん色のみかん展	2/11～2/14	子どもたちが一年にわたって制作した“緑” や“木々”にかかわる作品の展示	1,298 人
武庫川髭の渡しコス モス園フォトコンテ スト受賞作品展	2/17～2/23	『武庫川髭の渡しコスモス園』の写真を使っ たフォトコンテストの受賞作品の展示	389 人
クリスマスローズ展	2/26～3/1	多品種のクリスマスローズの展示	878 人
家族で楽しむ！年中 行事と植物大集合	3/7～3/14	年中行事に関連・発信してきた植物の総集編 的な大集合の展示	698 人
あまがさき桜展	3/17～3/24	市内の桜の展示・紹介	531 人
春の椿展	3/27～3/30	椿の切り花の展示会	697 人
受託事業 7 回 自主事業 24 回 合計 31 回 延べ開催日数 200 日 来場数 18,945 人			



(忍者と植物～秘伝の草木術～)



(虫・むし・ムシ展)



(お正月展)

(6) 緑の相談業務

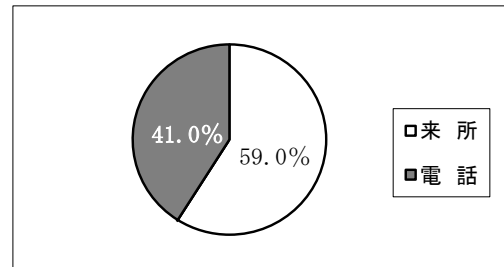
上坂部西公園緑の相談所において、当協会園芸相談員等の専門家を配し、緑化園芸相談を年間を通して実施した。相談にあたっては、相談者のレベルに応じたわかりやすい説明に留意するなど、多様なニーズに的確に応えるよう努めた。

① 相談所利用状況

来所・電話別

来 所	電 話	合 計
1,228 (人)	854 (人)	2,082 (人)
59.0%	41.0%	100%

※ 1人当たり複数の内容の相談を受ける場合があるため、年間の相談件数は3,783件にのぼる



② 主な相談内容

草花や野菜、果樹等の育成方法や樹木の手入れ、病虫害の防除、土づくり、植物の分類など多岐に亘り、ビギナーから上級者まで丁寧に対応した。

(7) 2025 あまがさきフラワーガーデニングコンテストの開催

見

市民の方々が手掛けた自慢の花壇を、「お庭」「街かど」「学校」「ベランダ・インドア」の4部門で募集して専門家とともに審査するコンテストを今年度も実施した。コンテストを通じて街の魅力を内外に発信するとともに、技術向上の一助となるよう努めた。今年度から尼崎の住宅事情を考慮して「ベランダ・インドア」の部門を新たに設け、家の中やベランダなどのインドアグリーンも応募対象とすることに改善した。家の中やベランダなどで花や植物を育てる取組は、近年人気を高めており、今後、これまでコンテストに応募されていなかった方々からの応募が増加することが期待される。

- ・ 募集期間 令和7年5月1日（木）～11月30日（日）
- ・ 審 査 日 令和8年2月3日（火）
- ・ 応募総数 32 件
- ・ 入賞花壇数 13 件（お庭部門 2 件、街かど部門 2 件、学校部門 2 件、ベランダ・インドア部門 2 件、緑化公園協会特別賞 5 件）
- ・ 各部門の入賞花壇



（お庭部門【最優秀】）



（街かど部門【最優秀】）



(学校部門【最優秀】)



(ベランダ・インドア部門【最優秀】)

(8) ローズアマガサキ事業

園芸研究家の藤岡友宏氏が交配・作出し、市制 100 周年である 2016 年に新品種のバラ 10 種の中から市民投票により決定された尼崎市のオリジナルローズである「ローズアマガサキ 2016」を、各種講習会や公園内への植栽と掲示、HP での紹介などを通じて広く広報に努めた。



(ローズアマガサキ 2016)

(9) 花・緑情報の発信

① 緑の相談所での情報発信

緑の相談所では、市民が花や緑について自由に学習及び情報収集ができるように整備しており、特に、ファミリー世帯をターゲットとした絵本や子ども向けの図書を充実して、学べる空間を提供した。



(学習空間の整備)

② 緑の相談所だよりの発行

年 4 回の四季発行で、季節ごとのトピックや催し等の広報を中心に、話題の植物や希少な植物の情報、ガーデニングのアドバイスなど、幅広く興味を持たれるような紙面構成を心掛け、読者層の拡大に努めた。

本年度は、「植物園を訪れる野鳥」をテーマにして、春号から冬号までの全 4 回で多くの野鳥を紹介し、自然豊かな上坂部西公園の魅力を多くの市民に発信した。



(緑の相談所だより 400 号)

また、発刊 400 号となった夏号では、特集を組み、記念イベントの開催や展示施設での過去の相談所だよりの展示などを行い、広く市民への周知を図った。

- ・発行部数 各号 3,000 部（年間 12,000 部）
- ・主な配布先 本市緑の相談所、本庁、支所、公共施設、金融機関の待合等で市民配布。また学校、近隣市の緑の相談所、賛助会員及び花いっぱいの会々員に送付

③ パークフルを活用した公園情報の発信

公園検索アプリ「パークフル」に、令和 6 年度に協会職員が投稿した指定管理公園を除く 1 h a 以上の 32 公園の情報を、引き続き発信した。



（パークフルの画面）

④ ホームページによる情報発信

令和 3 年度の尼崎中高年事業(株)（以下「会社」という。）との統合を機にリニューアルしたホームページを活用して、市民のニーズが高い公園情報や、ボランティア活動の募集案内、四季折々の植物紹介と開花情報、イベント情報や講習会・展示会の案内等のタイムリーな情報を提供した。



（当協会ホームページ）

・HP の発信回数とアクセス数

年度	R2 (リニューアル前)
情報発信回数	92 回
HP 訪問数(アクセス数)	43,692 回

R4	R5	R6	R7
484 回	551 回	540 回	391 回
88,764 回	100,226 回	88,990 回	74,619 回

⑤ SNS を活用した情報発信

尼崎市と共同で運営しているフェイスブック「アマグリ」、新たな情報発信ツールとして立ち上げた協会公式インスタグラムや youtube を活用して公園での花や緑の見頃情報や、緑化行事の紹介などをリアルタイムで発信し、ネットワークでつながるユーザーや当協会事業への関わりが比較的少ない若者世代への情報提供を積極的に行った。



（F B（アマグリ））

・Instagram の情報発信回数

情報発信回数	164 回
閲覧数	149,147 回



（協会公式 Instagram）

⑥ 観光情報施設等からの情報発信

阪神尼崎駅前にある観光案内所（旧中央公園パークセンター）や尼崎信用金庫、尼崎北郵便局などに公園パンフレットや緑の相談所だより等の印刷物を提供し、幅広い層に向けて緑化情報を発信した。



（あまがさき観光案内所）

⑦ 記念公園総合体育館への広告看板の掲示

体育館利用者等に対して、協会のPRと緑への興味をもってもらうため、7年度も引き続き、尼崎市記念公園ベイコム総合体育館に広告看板を掲示した。

尚この看板掲示は、コスト圧縮の観点から、今年度をもって終了することとした。



（体育館に設置した広告看板）

(10) 園地維持管理業務

フィールド公園等の園地部分の清掃、除草、かん水をはじめとする保護育成、花壇の維持管理や流れ等の施設管理業務を実施することに加えて、見通し確保のための低木の切下げや高木の下枝剪定、危険木の剪定等を行った。



（公園外周の剪定作業）

(11) 施設管理業務

① 元浜緑地わんぱく池運営管理業務

コロナ禍での中止や人数制限を行わない従来の形に戻った「わんぱく池」は、厳しい暑さも反映して多くの子供たちが訪れて大いに賑わい、コロナ禍前を上回る利用者数となった。



（わんぱく池の様子）

・〔開園期間 6月1日(日)～8月31日(日)〕

開場日数	利用者数	1日平均利用者数	最高利用者数
79日	65,108人	824人	4,756人[7月29日(日)]

② 元浜緑地駐車場管理運営業務

元浜緑地駐車場の管理運営業務を受託し、公園利用者の利便を図った。

開場日数	普通車入庫数	大型車入庫数	総入庫数	1日平均入庫数
359日	20,581台	48台	20,629台	57台

③ その他施設管理

上坂部西公園緑の相談所や元浜緑地管理棟の電気点検、消火器点検等の施設管理業務を法令等に基づき、適正に実施した。また、一部の老朽化した設備については、不具合箇所を速やかに市に報告し、計画的な更新を要請した。

(12) 公園管理に関するその他の取り組み（循環型社会形成への貢献）

① 剪定枝等のリサイクル

当協会が所有する大型樹木粉碎機（ウッドチップパー）を活用して、剪定の際に発生する枝等を焼却処分せずチップ化して再利用する取り組みを行い、二酸化炭素排出量の抑制に努めた。

本年度も、尼崎の森中央緑地での管理作業において発生した剪定枝や間伐材を粉碎してウッドチップを作り出し、園路に敷き均したり、植栽苗木の足元に雑草抑制のためのマルチング材として敷き詰めるなどの有効活用を行った他、イベントにおいて、来園者に無料で配布した。



（樹木粉碎機（ウッドチップパー））



（グリーンフェスタでの無料配布）

2 西武庫公園管理運営業務

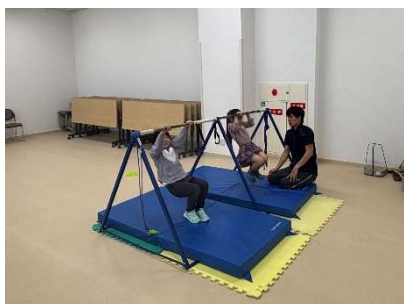
(1) 西武庫公園の魅力向上の取り組み

公園内の自然を活用した緑化普及啓発や公園利用促進の取り組みを行った。

また西武庫公園においても事業名称に「公園 deー」を加え、公園を活用した行事であることを明確にした。

・西武庫公園での緑化普及啓発の取り組み

月 日	取組名称	参加者数	内 容
11 月 9 日	公園 de こども運動教室	5 名	公園の遊具などを使ってこどもの運動能力を高めよう
11 月 17 日	公園 de 野鳥観察会	8 名	西武庫公園と武庫川河川敷にいる野鳥の観察
計	2 回	13 名	



（こども運動教室）



（野鳥観察会）

(2) ボランティアとの協働の取り組み

花づくりボランティア「西武庫公園フェアリーズ」との協働作業として、種から苗を育てて園内の花壇に植栽する取り組みを行った。

- ・登録人数 3名
- ・定例活動日 毎週土曜日
(上記以外にも日常的に作業を実施)
- ・活動内容 公園ボランティア「西武庫公園フェアリーズ」の方々と協働で、園内に設置してある温室で花苗を生産し、公園内の花壇に植栽して管理を行った他、園内の施設の装飾なども手掛けるなど、公園の美化に努めた。



(花壇の手入れ)

(3) ネットワーク会議の事務局

西武庫公園では、園内施設の「ゆめハウス」を拠点に様々な市民ボランティア等が活動しており、当協会では、それらの団体等が横の連携を図り、活動規模の拡大や利用者主体のルールづくりなどを行うことを目的として立ち上げられた「西武庫公園ネットワーク会議」の事務局を務めている。7年度の取組としては、年3回会議を行い、各団体の活動報告やネットワーク会議が主催する公園での催しの実施に向けた企画・調整等を行うとともに、2月28日の土曜日に子ども達が「自ら遊ぶ」体験の場をコンセプトに、各団体との協働で行うイベント「冒険広場がやってきた！」を開催し、滑車すべり、マシュマロ焼き体験、むかし遊び、やきいも、ゴーカートによる交通教室などの催しを実施し、約700名の親子の参加があった。



(ネットワーク会議の様子)



(冒険広場(マシュマロ焼き))



(冒険広場(ゴーカート))

(4) あまがさき健康ファームの取り組み

園内の分区園奥の未利用地を活用し、市の健康支援推進担当とタイアップして「あまがさき健康ファーム」の取組みを行った。この事業は、市の特定検診で物忘れチェックを受診された方を対象に、農作業による認知症予防を目的として農地を有償で提供するもので、平成29年度の事業開始以来利用可能な14区画が常に充足された状態で運営されている。また、利用者に対する付加価値として、緑の相談所の園芸相談員が年間10回の農作物栽培等の講習を実施している。



(農園栽培講習会)

・農園栽培講習会参加者数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
人数	2	4	4	—	4	3	2	4	3	3	—	3	32

(5) 園地の保護育成と施設の管理

老朽化し、枯れ枝が目立っていた園内のサクラを一斉に手入れすると共に、新たにサクラを2本植栽するなど、利用者の安全・安心につながる適正な公園管理に努めた。また、西武庫公園駐車場の管理運営業務にも携わり、利用者の利便性向上に努めた。

・西武庫公園駐車場利用状況

開場日数	普通車入庫数	大型車入庫数	総入庫数	1日平均入庫数
365日	50,886台	8台	50,894台	139台

3 尼崎の森中央緑地運営管理業務

兵庫県園芸・公園協会、阪神園芸(株)との三者共同体での指定管理(5年間)の最終年にあたる当業務については、引き続き環境学習の各種プログラム実施や森づくり活動の支援、緑地及び施設の維持管理等を担当し、加えて各種集客イベントにおいても十分な協力体制を敷いて取り組むなど、緑地の美化と事業目的達成に努めた。本年度も高いハードルが設定されている来園者目標数(30万人)を達成するため、主催行事や持ち込みイベントの誘致などの催しを多数計画し実施した。近隣に民家が無い立地の特性と認知不足から平成27年度の指定管理者制度導入後一定期間は来園者数が低迷していたが、令和3年度の約27万人以降安定した来園者数が続いており、令和7年度は目標数を超える**300,360**人と、過去最多の来園があった。

当協会としても尼崎の森中央緑地の認知度を一層向上させるため、市報への記事掲載や、各種ホームページ、SNSを活用した催し等のPR、緑の相談所をはじめとする各施設でのチラシ等の配布や掲示などの各種情報発信に取り組んだ。

また今年度は、当緑地の次期指定管理者の募集が行われたことから、現在の三者共同体の体制を維持して応募し、引き続き指定を受けたため、8年度以降も5カ年の森づくりの業務に携わっていくこととなった。

・年度ごとの来園者数

〔単位；人〕

年度	平 29	平 30	令元	令 2	令 3	令 4	令 5	令 6	令 7
人数	110,950	188,800	248,810	249,420	268,870	290,110	281,050	282,990	300,360

・魅力アップ事業（県市共同事業）の開催状況

事業名称	内 容	参加者数等
環境体験事業（県事業）	県内の小学校児童を対象にした環境学習	1,415 人
環境体験事業（尼森独自事業）	幼稚園等上記以外の園児、生徒を対象	440 人
環境体験プログラム 1	季節ごとに異なる自然環境を楽しく学ぶ	245 人
環境体験プログラム 2	一般来園者がいつでも気軽に体験	5,159 人
環境体験プログラム 3	自然に関するより詳しい知識を学ぶ	134 人
尼崎の森ファミリークラブ	本市及び近隣市の小 1 を対象にした植樹	243 人
昆虫採取イベント	当緑地に生息する昆虫を捕獲し観察する	1,100 人
森の子育てひろば	阪神間の親子が自然を体感する	71 人
環境学習サポーター養成講座	環境体験をサポートするボランティア養成	27 人
生物多様性促進イベント	森づくりを広く PR するイベント	216 人
自由提案イベント	大芝生広場等を活用した大規模集客イベント	2,000 人



（環境体験事業）



（環境体験プログラム）



（昆虫採取イベント）

・利用促進事業（県事業）の開催状況

事業名称	内 容	参加者数等
持込み企画誘致・サポート事業	大芝生広場でダンスや音楽イベントの誘致	6,000 人
食のイベント推進プロジェクト	阪神間の飲食店等による食がテーマのイベント	9,100 人
茅葺き民家活用プロジェクト	民家や森を使って里山の暮らしを体験	998 人
ひょうごヘルシーパークプロジェクト	ウォーキングやヨガ等の健康づくり	3,000 人
運動会等開催サポート	近隣企業等の運動会等の開催をサポート	—（※1）
子育て交流スペース設置・運営	子育て情報コーナーや交流スペース	777 人
夏休み自由研究サポートプログラム	緑地の自然素材を活かしたワークショップ	28 人

事業名称	内 容	参加者数等
乳幼児支援の展開	屋外スペース等を貸出、安心して遊べる場の提供	— (※1)
森から学ぶ幼児教育プログラム	親子で一緒に楽しめるプログラム	305 人
森のお道具箱	間伐材等のクラフト材料を貸し出し	743 人
元プロ野球選手から学ぶ3世代交流スポーツ教室	阪神南青少年本部と共催し忍者教室	32 人
生物多様性あまもり戦略 2019 の推進	各活動・催しに当計画を組み込み	— (※1)
生物多様性普及啓発プロジェクト	地域制苗の活用及び普及啓発	660 人
ボランティア活動団体支援プロジェクト	アマフォレストの会と連携し種子採取など	80 人
森のセルフガイド推進プロジェクト	指導者なしで学習・体験できるセルフガイド	248 人
郷土種グリーンフェスタ	郷土種を使った体験プログラム	— (※2)
尼森防災プロジェクト	県・市と連携した防災イベントや訓練	2,000 人
安心安全プロジェクト	危機管理マニュアルに基づく避難訓練など	— (※1)
みんなにやさしい公園づくりプロジェクト	HP に園内バリアフリーの掲載や園内看板の整備	— (※1)
アクセス向上社会実験プロジェクト	バスや自転車でアクセス向上の社会実験	450 人
会議室セットプランサービス	環境学習教材とセットで会議室を提供	— (※1)
あまもりフェノロジーカレンダー	公園の草花等のカレンダー等を作成	— (※1)
1000ha 連携プロジェクト	1000ha エリア内の企業、運河関係団体と連携	133 人
学生との連携プロジェクト	近隣の大学との連携による緑地の活性化	242 人
森の会議発案企画サポート	オリジナルの競技を楽しむ運動会など	18 人
森の文化祭	近隣地域へのPRを目的にしたイベント	3,500 人
夜の公園活用プログラム	星空観望会など	113 人
DYI 技術向上プログラム	各ボランティア園内整備の技術向上	7 人
尼崎の森中央緑地ガイドツアー	職員と緑地内を巡るガイドツアー	190 人
公園活用プロジェクト	通常禁止されている公園利用をイベントとして行う	— (※1)
インスタ映えスポット紹介・写真コンテスト	写真コンテストの開催など	— (※1)
親子で運動を楽しむプログラム	サッカー教室などスポーツプログラム	— (※1)
新たな公園の管理運営について	公園内での「ひょうごスタイル」推進など	— (※1)

※1 印については、スペースの貸出しや自由利用等の事業ため参加者数のカウント未実施

※2 印については、食のイベントと同時開催のため、人数は食のイベントに含まれる



(食のイベント推進プロジェクト)



(尼森防災プロジェクト)



(夜の公園活用プロジェクト)

4 緑地・緑道等の保護育成業務

市内の公園や緑地緑道、街園、植樹帯など 401 カ所の樹木剪定、生垣剪定、芝刈、除草等の維持管理を持ち前の機動力を活かして適切に実施した。

また公益目的事業として潮江公園でのバラ散策会や緑地緑道での市民との協働によるチューリップ運動の球根の植付けなど緑化啓発事業を実施し、花や緑に親しむ人のすそ野の拡大に取り組んだ。

・管理対象

公園・子ども広場	239 カ所
緑地緑道	55 カ所
街園・植樹帯	107 カ所
計	401 カ所

・緑地緑道での緑化普及啓発の取り組み

月 日	場 所	取組名称	参加者数	内 容
5 月 10 日	潮江公園	季節の花散策～バラ～	30 名	見ごろのバラをガイド付きで見学
11 月 30 日	阪神センタービル前駅北広場	チューリップ運動球根植付	11 名	市民との協働でチューリップの球根 1,000 球を植付
12 月 9 日	大物川緑地	チューリップ運動球根植付	4 名	チューリップの球根 1,500 球を植付
12 月 22 日	阪急武庫之荘駅南広場（噴水周辺）	チューリップ運動球根植付	15 名	市民との協働でチューリップの球根 1,100 球を植付
12 月 22 日	阪急武庫之荘駅北広場	チューリップ運動球根植付	19 名	市民との協働でチューリップの球根 1,800 球を植付
12 月 22 日	北雁替公園	チューリップ運動球根植付	15 名	市民との協働でチューリップの球根 400 球を植付
12 月 22 日	JR 立花駅南広場	チューリップ運動球根植付	4 名	チューリップの球根 800 球を植付
12 月 24 日	阪急塚口駅前広場	チューリップ運動球根植付	4 名	市民との協働でチューリップの球根 1,000 球を植付



（潮江バラ散策会）



（北雁替チューリップ 球根植付け）



（阪急武庫之荘駅南広場
チューリップ 球根植付け）

5 尼崎市との災害協定に基づく倒木処理業務

尼崎市との間で令和 5 年 4 月 1 日付で締結した「災害等における応急対策業務に関する協定」に基づき、今年度も「防災・災害マニュアル」を更新し、非常時の備えを整えたが、幸いなことに特に大きな災害が発生しなかったため、出勤実績は無かった。

6 ファミリーフェスタの開催

秋の恒例行事として継続して実施している「ファミリーフェスタ」を尼崎の森中央緑地で開催した。この催しは、広大な大芝生広場を会場として、「郷土種グリーンフェスタ」との2催事合同の実施となっており、森づくり活動をおこなっている企業や学校等の出展やステージイベント、ワークショップなど、多数の家族連れが訪れる中、当協会が執り行うファミリーフェスタでは、ゴーカートや昔あそび体験といった子ども向けのコーナーを提供した。

- ・開催日 10月19日（日）
- ・場所 尼崎の森中央緑地・大芝生広場
- ・参加者数 3,100人
- ・内容 ゴーカートで遊ぼう、竹馬や竹コップリなどの昔あそび体験



（昔あそび体験）



（足こぎゴーカート）

7 尼崎市民農園の運営管理

本年度も農園主から市民農園の管理業務を受託して実施した。市農政課から農園管理を引き継ぎ、協会独自事業として農園の巡回点検や利用指導の他、年10回の市民農園教室開催などに取り組んだ。

- ・各年度の管理農園及び区画数の状況

年 度	管理農園数	管理区画数
R 元年度	18	964
R2 年度	19	997
R3 年度	19	994
R4 年度	19	907
R5 年度	18	794
R6 年度	19	807
R7 年度	18	757



・農園教室の開催状況（概ね農園ごとに開催）

月	開催回数	テーマ	参加者数
4月	18回	夏野菜の植え付けと初期管理	113名
5月	18回	夏野菜の中間管理とサツマイモ	87名
6月	18回	ナスの夏場の管理と相性の良い作物&よくない作物	83名
7月	4回	ナントの秋冬野菜講習会	37名
9月	18回	秋まきに向く野菜	55名
10月	18回	タマネギの植え付けと初期管理	73名
11月	18回	すべての野菜作りは葉物から	66名
12月	18回	寒い時期の栽培管理	58名
1月	4回	ナントの春夏野菜	39名
3月	14回	春夏野菜の準備	50名
合計	148回		661名



（農園教室の様子）

Ⅱ 公益2事業〔定款事業(2)〕

（市民ボランティアグループ及び市民運動として展開している花のまちづくりの協働推進事業）

1 花と緑のまちづくり推進事業

（1）街なみ街かど花づくり運動業務

本年度も引き続き市民ボランティアの花の世話役さんで組織する「尼崎花のまち委員会」の事務局を務め、市民自らの手で花を育てて街を飾ることにより、美しい街なみ景観の向上を図る「街なみ街かど花づくり運動」を推進した。



（圃場での種まき）



（総会の様子）

・ガーデニング教室の開催状況

講習会名／月日	6/9	7/1	9/1	10/20	11/10	12/1	修了レポート	修了者
花のガーデニング教室基礎コース	8名	7名	6名	7名	6名	4名	3名	3名

講習会名／月日	6/8	6/24	7/8	9/1	11/11	12/2	修了レポート	修了者
花のガーデニング教室応用コース	7名	7名	7名	6名	6名	8名	3名	3名

・会員数（令和7年度末現在）

ボランティア区分	グループ数	人数
花の世話役さん(市民ボランティア)	115グループ	441名

※ 市民ボランティアの個人会員 12 名を含む

公共施設も当運動の対象であるため、市職員等がボランティアで行う花づくりの取組についてもしっかりとサポートした。

・会員数（令和7年度末現在）

ボランティア区分	グループ数	人数
公共施設の花づくり(市・団体職員等ボランティア)	54グループ	158名

(2) 花のまちあまがさきチューリップ運動業務

① チューリップ運動の推進

子どもからお年寄りまで幅広く親しまれているチューリップを、市民・事業者・行政が協働で身近な場所に咲かせることにより、「花のまち尼崎」のイメージを内外に発信することを目的に市民運動として取組んでいるチューリップ運動の事務局として、運動の推進に鋭意努めた。

市民まつりや農業祭などの出店販売では、「百合咲き」や「八重咲き」「フリンジ咲き」などの変わり咲きチューリップの割合を大幅に増やし、球根普及総数の増加に取り組んだが、仕入価格の上昇によって昨年に続き販売価格を値上げした影響で、前年より約1万2千球減の約6万3千球の普及総数となった。

一方、企業や団体からの寄付を活用して駅前等を彩る市民大型花壇では、寄付者や市民ボランティアなどの協力を得て、例年並の春のチューリップ開花を維持した。



(JR 尼崎駅北緑道での植付け)



(市民まつりでの球根販売)



(JR 尼崎駅南ロータリーの開花状況)

Ⅲ 公益3事業 【定款事業(3)】

（尼崎市緑化基金を活用した緑の保全及び緑化催事開催による普及啓発事業）

1 あまがさきグリーンフェスタ2025の開催

春の恒例行事である「あまがさきグリーンフェスタ 2025」を、市民が緑化に興味を持ってもらい、関わってもらい、実践してもらうきっかけづくりに重点を置いた「体験・参加型のイベント」として開催した。当日は、ファミリー世帯を対象とした寄せ植えや公園内の樹木ラリー、兵庫県立人と自然の博物館の移動博物館車「ゆめはく号」での植物の化石や昆虫の展示など、子育て世代の緑や自然とのふれあいに寄与する内容を中心に実施した他、多くの緑化関連団体などの出店等を得たことにより、約 4,900 人の来園があった。

またイベント内で“2024 フラワーガーデニングコンテスト”の表彰式を行い、「家庭緑化」、「コミュニティ緑化」、「学校緑化」各部門の入賞者 10 点（個人・団体）を表彰した。



（フラワーガーデニングコンテスト表彰式）



（ゆめはく号の展示）



（多肉植物の寄せ植え）

2 屋外展示会共催事業

見

伝統園芸の深みと趣きのある作品を紹介して愛好家を楽しませるとともに、新たな層にも関心を持ってもらうことを目的に開催しているさつき展と菊花展は、長年にわたり開催してきた阪神尼崎駅前広場の整備に伴い、令和 5 年度に会場を尼崎城址公園の多目的広場に移したが、立地の面から集客に課題があるため令和 6 年秋の菊花展から当協会の拠点施設である上坂部西公園に開催場所を変更しており、7 年度はさつき展、菊花展共に同園芝生広場での開催となった。

名 称	開催期間	日数	内 容	入場者数	場 所
さつき展	5/17～5/25	9 日	皐月盆栽など約 100 鉢を出品展示	1,077 人	上坂部西公園
菊 花 展	11/2～11/15	14 日	大菊 3 本立てなど約 250 点を出品展示	3,036 人	上坂部西公園



（さつき展）



（菊花展）

3 民有地緑化推進事業

(1) 生垣等設置助成事業

緑視率を高めることによるまちなみ景観の美化と防災効果のため、ブロック塀を生垣に作り替えたり、生垣を新設する経費の一部を助成する事業であるが、本年度は申請がなかった。

年 度	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7
助成件数	0	1	1	0	0

(2) 保護樹木等の助成事業

尼崎市が指定した保護樹木等（単木 65 本・樹林 48 箇所）の内、保護養生に要する経費を所有者等に助成する形で支援を行う事業で、本年度は 9 件の助成を行った。

- 指定基準…単木：地上高 1.5m での幹周 1m 以上、樹高 10m 以上
樹林：保護樹木を含む面積が 300 m² 以上

種類/地区	中 央	小 田	大 庄	立 花	武 庫	園 田	計
樹 木	6 本	17 本	6 本	7 本	12 本	17 本	65 本
樹 林	3 カ所 9,920 m ²	11 カ所 15,155 m ²	2 カ所 6,879 m ²	8 カ所 16,629 m ²	12 カ所 12,745 m ²	12 カ所 20,563 m ²	48 カ所 81,891 m ²

- 本年度助成内容 剪定等 9 件
- 助成額 2,408,600 円

◆ 収益等事業

I 収益1事業 【定款事業(4)】

1 花・植木等販売事業

緑の相談所での園芸相談や市民農園での栽培教室実施時などに、作業に必要な薬剤や肥料等を助言・指導を交えて行うコンサルティング販売をしたほか、「花のまちあまがさきチューリップ運動」の一環としてのチューリップ球根販売など、市民運動や環境緑化の取り組みに寄与する事業を行った。また、クリスマスの時期にシクラメンやポインセチアを販売するなど例年人気の高い植物をピックアップしての販売事業も実施した。更に、学校等への年 2 回の通信販売「春季及び秋季の特別販売」や、学校行事の装飾等で使用する鉢花等の注文販売を本年度も引き続き実施した他、関西ローズ E X P O 等のイベントやセミナーでの出店販売・実演販売を行い、自主財源の確保と花と緑の普及に努めた。

販売種別		売 上	摘 要
緑の相談所等でのコンサルティング販売		331,980 円	緑の相談所・市民農園等
チューリップ運動球根販売		1,814,965 円	窓口販売、受注販売、催事販売
受注販売		205,632 円	学校、賛助会員等
通信販売	春季特別販売	1,238,182 円	トマト、ナス等夏野菜・花苗、用土他
	秋季特別販売	1,403,848 円	花苗、用土・秋植え球根他
催事等出店販売		75,700 円	関西ローズ E X P O 等（チューリップ販売は除く）
合 計		5,152,329 円	

2 地域連携型・緑のプラットフォーム「GARDEN3」 新

今年度からの新規事業として、観葉植物のレンタルによる企業のオフィス緑化をベースに、働く人の健康と企業のCSR、地域の緑化を同時に進める地域連携型・緑のプラットフォーム「GARDEN3」を始動させた。

この「GARDEN3」は、緑で職場環境を改善することにより、職員のストレス軽減を図るとともに、加えてレンタルで得た収益の20%を地域緑化活動に還元する事業スキームとなっており、「健康経営」と「社会貢献」の両方を進める新しい事業モデルとして展開した。

事業名称	申込件数
地域連携型・緑のプラットフォーム GARDEN3	2件



II 収益2事業【定款事業(4)】

1 道路植樹帯等の保護育成業務

市内一円の道路植樹帯等 202 路線の樹木剪定、芝生管理、清掃、除草、花壇管理等の業務を尼崎市から受託し、尼崎中高年(株)時代からの強みである機動力を駆使して適正かつ効率的に維持管理を行い、街の美化と協会の収益確保に努めた。



(道路植樹帯の剪定業務)

2 民間団体等からの受託業務

企業や工場、集合住宅及び個人邸等の剪定、除草、病虫害防除などの業務を多数請け負い、リーズナブルで良質な維持管理により顧客満足度向上に努め、リピーターを確保して自主財源の増加を図った。

- 取引先 (株)東急コミュニティー、日本管財(株)
(株)ウォーターエージェンシー、日油(株) 等 190 件



(民間の剪定作業)

III その他事業【定款事業(4)】

1 オリジナルカレンダーの制作

毎年、テーマを決めて制作しているオリジナルカレンダーを、今年度は「上坂部西公園で見られる野鳥」をテーマに、同公園内で撮影した魅力あふれる野鳥の写真を使って作成し、広く市民等に無償配布した。

- 作成仕様 A4 版中綴じ (開くと A3) 14 枚綴りフルカラー
- 作成部数 2,000 部



(カレンダー)

2 賛助会員の確保

当協会の緑化普及活動の趣旨に賛同し、緑あふれるまちづくりに協力いただく会員の確保に取り組み、緑化普及啓発の輪の拡大に努めた。

会費は1口3,000円で、会員に対して、年1回シクラメンの鉢花を口数に応じてプレゼントし、加えて緑の相談所だよりを毎号送付する特典を提供した。

・過去5年間の会員数

年 度	会員数	口 数
令和3年度	134 件	238 口
令和4年度	144 件	266 口
令和5年度	141 件	253 口
令和6年度	153 件	283 口
令和7年度	144 件	272 口

3 県民まちなみ緑化事業等申請窓口業務

兵庫県が「緑」の保全、再生を目的として導入した「県民緑税」を活用して実施している「県民まちなみ緑化事業」や阪神北県民局が実施する「緑化資材の提供事業」などの各種緑化事業の申請窓口業務を受託し、広報や申請の受付指導、文書審査、委託者への進達などの事務を行った。

事業名称	内 容	取扱件数
緑化資材の提供事業	緑化活動グループへの緑化資材の提供	10 件
県民まちなみ緑化事業	屋上や壁面緑化、校園庭芝生化等緑化事業費の補助	5 件

4 緑化協力団体の育成事業

伝統園芸の保護・継承や、草花等によるまちの美化など、緑化の普及啓発に携わっている団体の活動援助、会員確保・増加の取り組みのサポートのほか、展示会開催にあたっての支援など、指導、育成と連携を図った。

・緑化協力団体等関連団体一覧

団 体 名		
尼 崎 市 菊 花 協 会	尼 崎 洋 ラ ン 会	尼 崎 皐 月 協 会
尼崎小品盆栽山草会	尼崎市花いっぱいの会	



(尼崎小品盆栽山草会による展示)



(尼崎洋ラン会による展示)

5 緑の募金の実施

(公社)兵庫県緑化推進協会が実施する「緑の募金」を、募金箱の設置や幼稚園、小、中、高等学校、事業所、市民及び市職員等を対象に募り、募金された方に緑の羽根を配付した。

なお、緑の募金については緑化推進協会が実施する「森と緑のふれあい支援事業」の原資として様々な緑化普及事業に活用されている。

・緑の募金額 31,109 円

6 職員のスキルアップ・能力開発

今年度は技術職員の新規採用があったことから、尼崎市人事管理部の職員基礎研修と協会内部講師の研修を組み合わせた新規採用者研修を実施し、職員の育成に取り組んだ。

また本年度も引き続き、新規採用作業員に対して計画的に安全教育を受講させ、作業者のスキルアップと労働災害防止に努めた他、各種セミナー・シンポジウムへの参加により、最新の都市緑化の傾向を学ばせた。

更に、7年度からの公益法人会計基準の大幅な見直しに対応するため、事務系職員を公益法人会計セミナーに複数回参加させるなど、幅広く職員の資質向上と職務の適正な履行に努めた。

・令和7年度の資格取得等状況

講 習 名	受講者数
刈払機取扱作業安全衛生教育	3 名
高所作業車運転技能講習	1 名

◆ 法人の運営体制の充実を図るための取組

1 第5次中期計画の策定

当協会が直面している課題の解決と緑化事業の更なる推進を目的に、令和8年度から5ヵ年の計画期間で取組みを進める「第5次中期計画」を策定した。本計画の策定にあたっては、各課の係長を中心とするプロジェクトチームを組織してトータル13回の会議を重ね、ディスカッションを行い取りまとめていくとともに、素案の段階で理事会を開催し、意見聴取するなどのプロセスを経て完成させた。

全体構成としては、職員の退職動向を踏まえ「持続可能な組織体制の構築」を最上位の基本方針として定め、「財務構造の改善」を加えた2点を最重要事項とするとともに“尼崎市みどりのまちづくり計画”で設定された様々な取組テーマを実現させるため「市からも市民からも信頼される質の高い事業推進」を3点目の基本方針として掲げ、方針別に設定した11の取組テーマを設定して進めていく計画とした。



2 理事会、評議員会の運営状況

理事会・評議員会を下表のとおり開催し、出席率は平均 87%であった。会議の資料は事前に送付し、内容を把握しておいていただくことにより、議論の質の向上を図った。特に今年度は、次年度からスタートする第5次中期計画の策定にあたり、素案段階で理事会に上程して協議いただいたため例年よりも回数を増やしての開催となった。

・理事会、評議員会の開催実績

会議名称	開催日	場所	議案等
第1回理事会	6月9日(月)	本部事務所会議室	6年度事業報告・決算他
定時評議員会	6月24日(火)	本部事務所会議室	6年度事業報告・決算 役員及び評議員の選任 他
第1回臨時評議員会 (決議の省略によるみなし開催)	7月29日(火)	—	評議員の選任
第2回理事会	1月20日(火)	本部事務所会議室	中期計画(素案)の協議
第3回理事会	3月30日(月)	本部事務所会議室	7年度事業計画・予算 中期計画の承認 他

3 外部性・独立性の確保

理事7名中5名、監事1名中1名、評議員9名全員を外部から選任し、ガバナンスの強化に努めた。

4 コンプライアンス・リスク管理

出先も含めた全職場において、個人情報にあたる関係団体や講習等参加者、顧客等の名簿を鍵付きの保管庫で適切に管理することを徹底するとともに、緑化管理課班長を対象にパワーハラスメント研修を実施するなど、コンプライアンスの強化に努めた。

5 財務の健全性確保の取組

第5次中期計画に掲げる3つの基本方針の1つに「財務構造の改善」を設定し、具体的なプランに基づく改善策を決定した。

また、新たにプロポーザル方式で公園維持管理事業者の募集があった2業務に応募し、企画提案を行った結果、「南の口公園及び大庄コミュニティスペース維持管理業務委託」の事業者を選定され、令和8年6月から業務を開始することとなった。

南の口公園及び大庄コミュニティスペース維持管理業務	
公園の特徴	地域住民等（サポーター）が行政と役割分担しながら公園運営を担う、尼崎市内初の「協働型公園」
管理期間	令和8年6月1日から令和9年3月31日まで
プレゼン日	令和8年3月10日

大物公園維持管理業務	
公園の特徴	「多世代が集う憩いの場、遊びの場」をコンセプトとして再整備した都市公園
管理期間	令和８年５月１日から令和９年３月３１日まで
プレゼン日	令和８年３月１０日

6 情報公開の推進

事業報告書、財務諸表、定款、役員等名簿及び中期計画などを当協会のホームページで公開した。また、事業の開催に関する情報についても様々な媒体を活用して広く情報開示し、不特定多数の方が参加できるようにするなど、公益法人としての適正な情報公開に努めた。